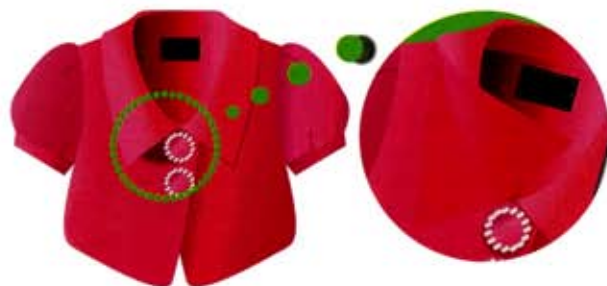




なるほど
納得!

衣生活の知恵

紫外線による
変退色を確認しよう



どんな素材のどんな色でも、紫外線を浴びると色素が酸化され退色していきます。日本工業規格（JIS）では、紫外線に対する染色の耐久性を試験する制度が定められています。染色の技術や染色工程によって光への耐久性は変わってきます。また、色の種類によっても、紫、青、赤、緑、黄の順に変退色しやすく、濃い色ほど変退色の差が際立ちます。衿の付いている服は、衿を裏返して普段光の当たらない衿に覆われた部分と肩など光に当たる部分と比較してみましょう。

衿周りなど肌と接する部分は汗がしみ込みやすく、汗を含んだ部分に紫外線が当たるとより退色しやすくなります。洗うと全体の汚れが落ちて、変退色が鮮明に現れることがあります。

Clipbox Topics

12月1日から
洗濯表示が変わります



約50年前につくられた繊維製品の取扱表示が、全面的に改正されました。その理由は…①ファッションの国際化の時代に日本人しかわからない表示では困る。世界共通にしましょう。②乾燥機も使われるようになるなど家庭洗濯も50年前とはずいぶん変わって来たのでこれに適したものにしましょう。③ファッション性の高い衣類が増えたのでクリーニング業者も対象にしましょう。④ただ単に汚れが落ちればいいということではなく、衣類のデザイン性を損なうことのないような「繊維製品のケア」という考え方のもにしましょう。ということ。

◎五つの基本記号を覚えれば意外にわかりやすい
従来のものに比べれば、見慣れない記号ですし、今まで22種類だったものが41種類と倍近くになるわけです。「41種類も覚えられないよ〜!」と思われるかもしれませんが、基本になる図形は、「洗濯」「漂白」「乾燥」「アイロン仕上げ」「商業クリーニング」のわずか5タイプです。この基本形にバリエーションが加えられています（裏面参照）。



クリップボックス・トピックス:12月1日から洗濯表示が変わります
衣生活の知恵:紫外線による変退色を確認しよう
新しい洗濯表示[保存版]

新しい洗濯表示 [保存版]

洗濯

タライの中に数字が入ると、上限の温度を表します。40 と入っていれば、40℃を限度として洗濯機で通常の洗濯ができるということになります。手洗いは、押し洗い、振り洗い、つかみ洗いです。



	液温は 30℃を限度とし、洗濯機で洗濯ができる
	液温は 30℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる
	液温は 30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる
	液温は 40℃を限度とし、手洗いができる
	家庭での洗濯禁止

漂白

表示対象として塩素系漂白剤の他に、酸素系漂白剤も加えられました。



	塩素系及び酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる
	酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止
	塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止

乾燥

新しい絵表示で、もっとも記号の種類が増えたのは乾燥の記号で、今まで4種類だったものが、一気に11種類になりました。



●家庭用回転乾燥機による乾燥

	タンブル乾燥ができる (排気温度上限 80℃)
	低い温度でタンブル乾燥ができる (排気温度上限 60℃)
	タンブル乾燥禁止

●自然乾燥

吊り干しの記号はタテの棒、平干はヨコの棒で表記されています。2本棒は濡れ干し、斜線は陰干しを意味しています。



	つり干しがよい
	日陰のつり干しがよい
	ぬれつり干しがよい
	日陰のぬれつり干しがよい
	平干しがよい

	日陰の平干しがよい
	ぬれ平干しがよい
	日陰のぬれ平干しがよい

アイロン

国際共通の表示という意味から、今までの漢字表記ではありません。



	底面温度 200℃を限度としてアイロン仕上げができる
	底面温度 150℃を限度としてアイロン仕上げができる
	底面温度 110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げができる
	アイロン仕上げ禁止

クリーニング

アパレルなどの表示者は原則としてクリーニング試験を行い、責任を持って表示しなければならないことになりました。



--	--	--	--	--	--	--	--